

図書館内で古本マーケット

「朝の読書」向け本をお届け



読書活動で文部科学大臣表彰を受けた都城農業高の図書館

都城農高に文科大臣表彰

都城市の都城農業高（吉田隆校長、597人）は本年度の「子どもの読書活動優秀実践校」文部科学大臣表彰を受けた。学校図書館内で古本マーケットを開くなどして、読書活動を後押ししたことが評価された。

本貸出数 1年で1400冊増

図書館の利用増に取り組んでいるのは、学校司書の相良小百合さん(47)や図書委員の生徒ら。本の寄贈を募って希望者に譲る古本マーケットを開催したほか、「学校図書館はリラックスできる居場所でもありたい」と昼休み中に音楽を流したり、季節感がある装飾を施したりして、気軽に足が向く雰囲気づくりに努めてきた。

また、全生徒の「朝の読書」向けに教室棟へ本を運んで貸し出す出張図書館を始めたほか、小論文対策や進路関係の資料を増やした。

この結果、利用回数が増加。県立、市立図書館とも連携した結果、2018年度の貸出冊数は4684冊と、17年度の3283冊から約1400冊増えた。

学校図書の助言役である「県立学校司書エリアコーディネーター」も兼ねる相良さんは「生徒が自ら調べる学習を支援するため、新聞や広報誌など本以外の資料も用意す

る。聞かれて答える受け身ではなく、生徒のニーズを先回りすることに力を入れている」と取り組みを説明。

吉田校長は「受賞は大変光栄」として「生徒がこれまで以上に積極的に読書活動を行う意欲を高め、より深く人生を生きる力を身に付けられるよう環境整備に取り組みたい」と話している。

(宮下拓)